

あきない歳時記

(1)

エスティックサロン
アドバイザー

辻 大作氏

今号から適宜「あき

ない歳時記」を掲載す

る。筆者はエステティ

ックサロン・アドバイ

ザーの辻大作氏であ

る。同氏は、エステテ

ィック業界には知名の

人で、今後の展望につ

いても鋭い指摘で知ら

れている。期待してい

ただきたい。

今日の健康保険は、危

機的な状況を迎えてい

る。

「医師免許」を持たな

い者

が、これからは「病気に

ならない」ようにする病院が増えて行くことになつてきそうだ。

当然、病気ではないか。保険はきかない。いわゆる「予防医学」というものである。見方を変えれば、本来あるべき方向

なのかもしれない。そこから「医師免許」がなければ、どうでもいい。しかし、オイルを使ってマッサージをするとか、そういうことは、別に構わない。あるいは、化粧品や健康食品を選んであげたりすることも別に構わない。

新世紀は予防医学の時代

る。その理由は、何となく国家財政を軽減しようとしためである。

「多分にもれず、日本もその方向に行きつつあるようだが、現時点では、

この辺の問題が、非常に重要なところだ。逆に世間の力

の盛り上がりなら、アタマの堅い役所も動かざるものとの、サプリメントや食事療法とか、そういうことを相談してもう少しの時間が必要かもしれない。

辻大作氏によると、この問題にもつながってく

る。この問題が、どうあげることについては、

高齢化時代、さらに健康保険の破産、いやでも「予防医学」の時代になつつあるようである。

この問題は、まだ大きいものではない。従来、病気にかかる人は、健康保険で治すのが常識であった。

「医師免許」を持つたな

い者が診察をしたり、診断行為をする」とは、現在の法律では禁止されて

いる。しかし、オイルを使ってマッサージをするとか、そういうことは、別に構わない。あるいは、化粧品や健康食品を選んであげたりすることも別に構わない。

は多くの人たちが理解がどれだけ得られるかといふことではない。役所はその性格上、絶対に新しい事業を立ちあげることはしない。

学の理念から來ている。健康保険の帰趨からみても、これからの予防医学はますます力を得てくるように考えられる。後